

「森の国ぽっぽ温泉」

森の国松野町

愛媛県の松野町は、国立公園滑床（なめとこ）溪谷に代表されるように、「日本最後の清流」四万十川源流域の豊かな森と、美しい川に恵まれており、「森の国」と呼ばれています。さらには、日本の農村の原風景といえる歴史的文化的景観も、人々の暮らしとともに残され、ど

特集

4

松野町



森の国ぽっぽ温泉
支配人
森口 泰

こか懐かしい日本の里山の景色が味わえます。
列車を降りると、そこは温泉だった

各駅停車の個人的な観光列車「日本一遅い新幹線!?」が、ゆつくりとホームに入ります。ここは、愛媛県宇和島市と高知県窪川町を結ぶJR四国予土線の松丸駅。温泉施設は、全国でもめずらしい駅舎の2階にある「森の国ぽっぽ温泉」です。温泉で身体が温まることと、汽車が走るのぼのぼのとした風景を重ね合わせたことから「ぽっぽ温泉」と名付けられました。森の国ぽっぽ温泉には、福祉、交流、温浴の機能が備えられ、デ



明治の露天



駅裏側

イケア等を行う福祉センター、各種情報の受発信の拠点となるギャラリーなどが併設されるなど地域住民のふれあい交流と福祉に焦点をあてた温泉施設です。

エコな温泉へリニューアル

ぽっぽ温泉に使用されている源泉は、25℃以下の冷鉱泉。こちらの施設では、薪でお湯を沸かしています。

薪ボイラー

れる薪は、森の国松野町内の山林の豊富な間伐材。間伐材は、林業関係団体等で組織する「森の国まきステーション」で



薪ボイラー



滑床の露天